

森田哲彌名誉教授経歴

- 昭和5年1月 横浜市で出生
- 昭和17年3月 横浜市三ツ沢小学校卒業
- 同 年4月 神奈川県立横浜第二中学校(現 神奈川県立横浜翠嵐高等学校)入学
- 昭和20年3月 同校第3学年修了・退学
- 同 年4月 海軍兵学校予科(長崎県針尾分校)入校
- 同 年8月 敗戦により海軍兵学校廃校・復員
- 同 年10月 神奈川県立横浜第二中学校第4学年に復学
- 昭和21年9月 東京産業大学(現 一橋大学)予科入学
- 昭和24年3月 東京商科大学(昭和22年 戦前の校名に復帰)予科修了
- 同 年4月 東京商科大学学部進学 岩田巖先生の指導を受ける
- 昭和28年3月 東京商科大学学部卒業
- 同 年4月 東京商科大学研究科入学
- 昭和29年3月 同大学研究科退学
- 同 年4月 一橋大学大学院商学研究科修士課程入学
- 昭和30年3月 岩田巖先生逝去 その後は飯野利夫先生の指導を受ける
- 昭和31年3月 一橋大学大学院商学研究科修士課程修了
- 同 年4月 一橋大学大学院商学研究科博士課程進学
- 昭和34年3月 一橋大学大学院商学研究科博士課程単位修得・退学
- 同 年4月 一橋大学助手(商学部)に就任
- 昭和35年4月 一橋大学講師(商学部)に昇任される
- 昭和37年9月 商学博士(一橋大学)の学位取得
- 同 年9月 アレキサンダー・フォン・フンボルト財団の研究奨学生として 西ドイツのフランクフルト大学カール・ハックス教授のもとで研究

(昭和38年12月まで)

- 昭和38年4月 一橋大学助教授(商学部)に昇任される
同 年12月 病気のため帰国
- 昭和46年2月 一橋大学教授(商学部)に昇任される
- 昭和47年5月 日本会計研究学会・学会賞受賞
- 昭和48年7月 名古屋大学経済学部講師(非常勤)に併任される(昭和49年3月まで)
- 同 年7月 大学設置審議会専門委員に任命される(昭和54年3月まで)
- 同 年11月 一橋大学評議員に併任される(昭和50年3月まで)
- 昭和50年1月 企業会計審議会臨時委員に併任される(昭和54年10月まで)
- 同 年11月 一橋大学学生部長に併任される(昭和52年10月まで)
- 昭和51年5月 日本会計研究学会理事に選出される(昭和57年6月まで)
- 昭和52年4月 税理士試験臨時委員に併任される(昭和55年1月まで)
- 昭和53年10月 東京大学経済学部講師(非常勤)に併任される(昭和54年3月まで)
- 昭和54年4月 長崎大学経済学部講師(非常勤)に併任される(昭和54年10月まで)
- 同 年10月 企業会計審議会委員に併任される(昭和62年9月まで)
- 同 年11月 日本経済新聞社・日経経済図書文化賞受賞
- 昭和55年5月 日本会計研究学会・太田賞受賞
- 昭和56年2月 一橋大学商学部長に併任される(昭和58年1月まで)
- 昭和57年11月 教科用図書検定調査審議会委員に任命される(昭和61年4月まで)
- 昭和58年2月 公認会計士試験第2次試験委員に併任される(昭和62年9月まで)
- 昭和59年4月 広島修道大学経営学部講師(非常勤)を委嘱される(昭和59年9月まで)
- 昭和60年4月 松山商科大学経営学部講師(非常勤)を委嘱される(昭和60年9月まで)
- 同 年6月 日本会計研究学会理事に選出される(平成3年9月まで)
- 昭和61年12月 一橋大学附属図書館長に併任される(平成元年6月まで)
- 同 年12月 名古屋大学経済学部講師(非常勤)に併任され 大学院経済学研究科を担当(昭和62年3月まで)
- 昭和62年12月 公認会計士試験第3次試験委員に併任される(平成元年7月まで)

- 昭和63年7月 国税審査会委員に併任される(現在に至る)
- 平成元年12月 学校法人松山大学評議員を委嘱される(現在に至る)
- 平成2年4月 日本大学大学院経済学研究科講師(非常勤)を委嘱される(平成5年3月まで)
- 同 年9月 広島県立大学経営学部講師(非常勤)に任命される(現在に至る)
- 同 年9月 日本会計研究学会会長に選出される(現在に至る)
- 平成4年2月 企業会計審議会委員に併任される(現在に至る)
- 平成5年3月 定年により一橋大学を退官
- 同 年4月 一橋大学名誉教授の称号を受ける
- 同 年4月 日本大学教授(経済学部)に就任